



notebook

# 浜松市 農林水産ノート

平成 29 年 2 月号

- ・ 農林水産情報発信WG(ワーキンググループ)がほぼ毎月配信します
- ・ ホームページやフェイスブックなど発信した情報を中心にまとめます



— 今号の目次 —

**特集『「ため池」って知っています??』**

浜松市農業経営塾第1期生卒塾式及び第2期開塾セミナーを開催しました

6次産業化新商品「らくらくごはん」が完成しました

ユニバーサル農業シンポジウム in はままつを開催します

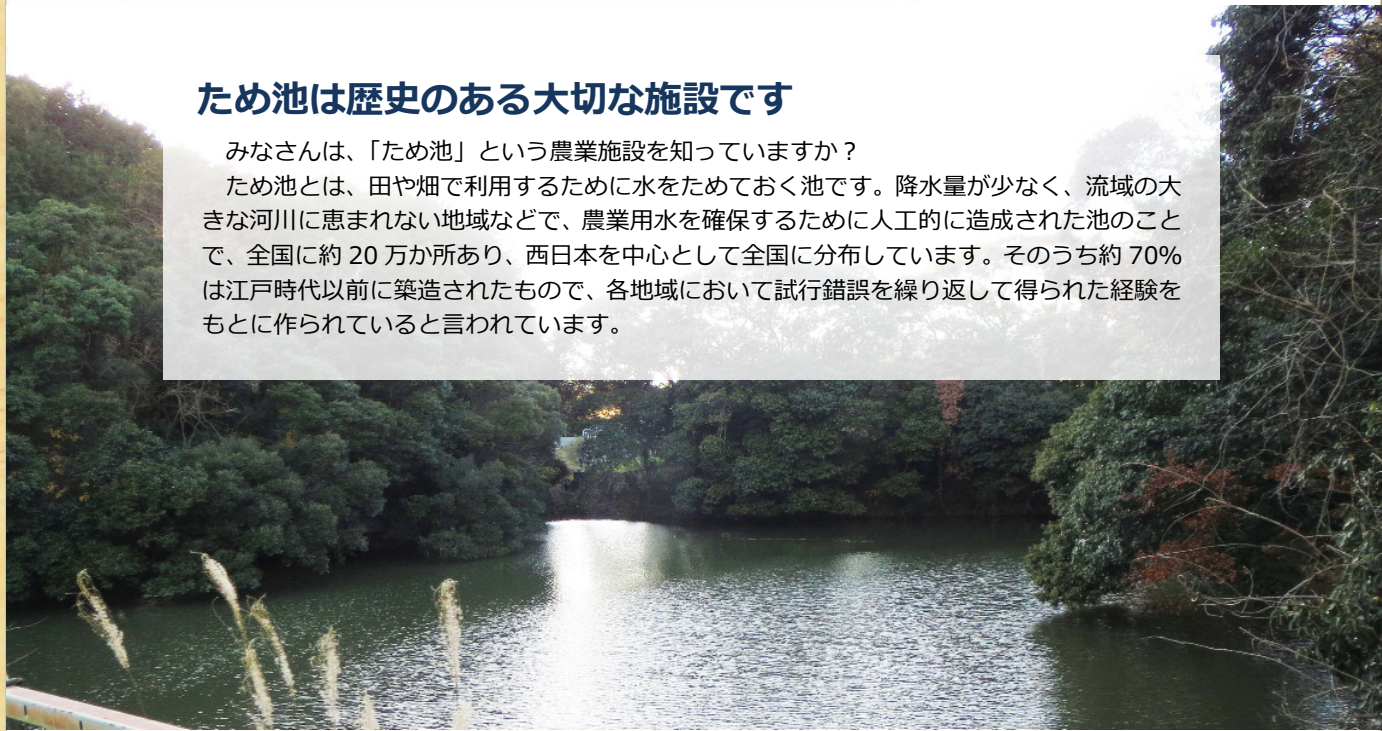
今年もフラワーバレンタインキャンペーンを実施しました!

## 【今号の特集】「ため池」って知っています??

### ため池は歴史のある大切な施設です

みなさんは、「ため池」という農業施設を知っていますか？

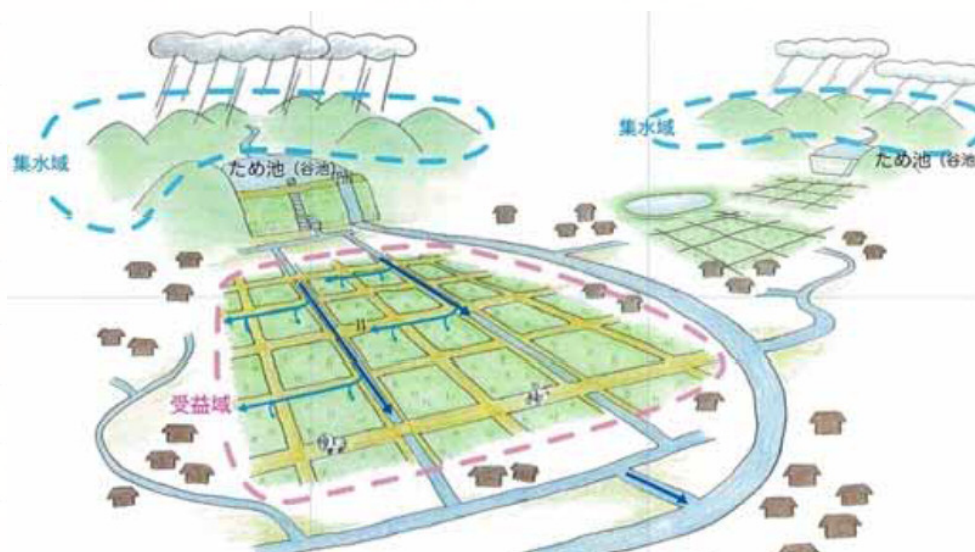
ため池とは、田や畑で利用するために水をためておく池です。降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために人工的に造成された池のことで、全国に約 20 万か所あり、西日本を中心として全国に分布しています。そのうち約 70% は江戸時代以前に築造されたもので、各地域において試行錯誤を繰り返して得られた経験をもとに作られていると言われています。



### ため池のしくみ

ため池へ流れ込む水は、ため池の上流の集水域に降った雨が集まってきたものです。ため池の水は、受益域において農業用水として使われた後に、水路を通じて河川へ流れ込みます。

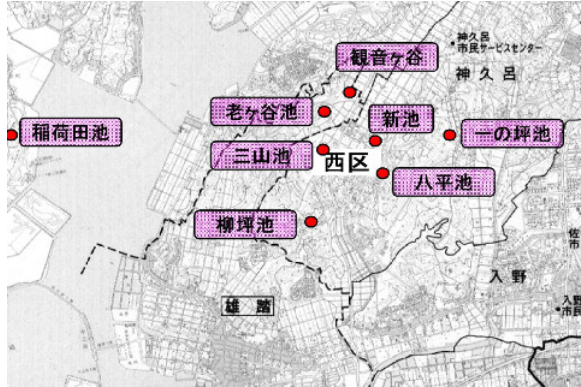
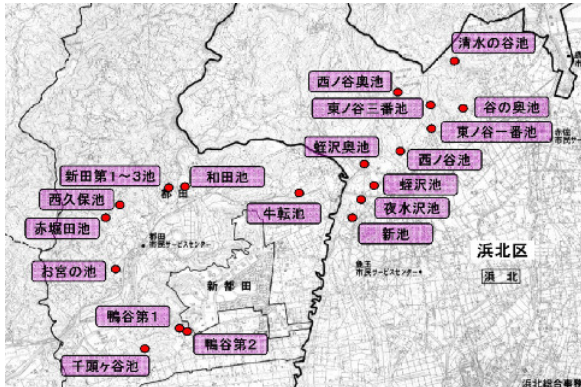
ため池の水は、農業用水としてだけでなく、生物の生息・生育の場所の保全、降雨時の雨水調整、土砂流出の防止など多面的な機能を有しています。



出展：「兵庫のため池ファイル」(兵庫県 H19.1)

## 浜松市内のため池

浜松市内には、西区、北区、浜北区を中心に34のため池があります。



## ため池の機能



### 洪水吐

大雨や台風時に、ため池の水がため池の様々な箇所から溢れないように、洪水吐（こうずいばけ）と呼ばれる排水箇所があります。



### 取水口

このハンドルを回すと池の底にある取水口を開閉することができます。開いた取水口に流れた水は、用水路に流れていきます。各水田では用水路に流れ出た水を取水し、耕作します。

### 【静岡ため池マップ】

「静岡ため池マップ」は、静岡県内のため池を紹介する冊子です。浜松市からは、「船明池」「西の谷奥地」「夜水沢池」「増沢池」「いなさ湖」「奥山温水ため池」の6つのため池が紹介されています。

下記の静岡県のHPで閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

詳細は、   



## 浜松市農業経営塾第1期生卒塾式及び第2期開塾セミナーを開催しました



浜松市農業経営塾第1期生卒塾式及び第2期開塾セミナーを2月3日（金）に開催しました！

浜松市農業経営塾は、次代の浜松の農業をけん引するリーダーを育成するために昨年度より始まった取り組みです。

今年度は第1期生として17名の塾生が全7回のゼミに参加し、経営理念や人的資源管理、マーケティングなどの講義内容を踏まえ自らの経営を発展させるための事業計画を策定しました。

今回のセミナーでは、第1期生を代表して3名の塾生が経営塾での学びについて成果発表を行いました。また、第2期開塾セミナーとして、本市の農業経営塾をコーディネートいただいている新日本有限責任監査法人 経営専務理事の大久保和孝氏により、「農業経営が抱える課題と成功のカギについて」をテーマに講演いただきました。



講演では、他者とのコミュニケーションツールとしての事業計画の重要性や、生産効率向上のためのノウハウなどが語られ、参加した農業者さんたちは真剣に耳を傾けていました。また、講演の後半では第1期生を代表した3名の農業者を交えてのパネルディスカッションも行われ、農業経営塾で学んだことや第2期生に向けたメッセージなどが語られました。

会場を変えて行われた第1期生の卒塾式では、塾長である鈴木市長より修了証が交付されました。市長からの「浜松の農業をけん引するリーダーとして、第2期生とも連携をとりながら浜松の農業を盛り上げてほしい」とのメッセージに、第1期生のみなさんも決意を新たにされたようでした。

農業経営に必要なノウハウを学ぶだけでなく、共に切磋琢磨し合う仲間づくりの場ともなっているこの農業経営塾。浜松の農業の未来を担うリーダーが今まさに育っています。



## 6次産業化新商品「らくらくごはん」が完成しました



浜松市では、農林漁業及び食品関連産業の活性化を目的として、浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金を実施しています。これは、農林漁業（1次産業）と工業（2次産業）、商業や観光業等（3次産業）を組み合わせた6次産業化とブランド化を推進し、農林漁業の付加価値の向上や新たな価値の創出、新規販路の開拓を図る取組を支援するものです。

そのうちのひとつ、場所を選ばず簡単に本格的な一人前のご飯が調理できる新たなレトルト米飯として、株式会社森島農園さんが開発に取り組んだ新商品「らくらくごはん」が完成し、商品の発表会がありました。

こちらの商品は、お米と水を別々に封入し、ひとつのパックにした新しい商品で、お米を洗う・量るといった手間を省いて炊き立てのご飯が食べられるのが特徴です。

商品の詳細発表会では、構想から5年かかった商品の開発秘話やこだわりが紹介され、試食が行われました。今後は、防災食品としての展開も目指していくということです。浜松市のお米が、全国で活躍する日も近いかもしれません。

これからは、生産者のみなさんが、自分の手で商品を創り出していく時代です。浜松市では、浜松の農林水産業に関わるみなさんが、そういった取組みに挑戦できるよう、今後も支援を続けていきます。



## ユニバーサル農業シンポジウム in はままつを開催します

平成 29 年 3 月 6 日 (月) 地域情報センター (中  
区中央 1 丁目 12-7) で、「ユニバーサル農業シンプ  
ジウム in はままつ」が開催されます！

あらためて、「ユニバーサル農業」とはどんなこ  
とかと言いますと…、農業や園芸作業を通じて得ら  
れる様々な効用を、リハビリや地域コミュニティ、  
高齢者の生きがいづくりや障がい者雇用の促進に  
活用するとともに、農業の担い手確保や発展につな  
げていこうという取り組みのことです。

毎年開催されているこちらのシンポジウムです  
が、今回は基調講演として、埼玉県のアルフアイノ  
ベーション株式会社代表取締役・山田浩太さんにご  
講演いただきます。

山田さんは、埼玉県白岡市で 27,000 坪を超える  
農場を農福商連携によって経営するほか、企業の農  
業参入や障がい福祉事業参入のコンサルティング  
など様々な活動を行われており、今回のシンポジウ  
ムでは「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強く  
なる！グループ連携型農業の展開」をテーマにご講  
演いただきます。

そのほか、浜松市内でのユニバーサル農業に関す  
る事例発表や成果報告などが行われ、“農福連携の  
今”を実感していただけるシンポジウムとなってい  
ます。

詳細や申し込み方法は、下記の浜松市ホームペ  
ージをご覧ください。多くのみなさまのお申し込みを  
お待ちしております！

詳細は、

**ユニバーサル農業シンポジウム**

検索



参加無料  
定員 100 名

### ユニバーサル農業シンポジウム in はままつ

～地域資源の有機的連携による農業の活性化について～

福祉資源と介護・介護サービスにより、障がいの農業参入の機会を創出し、近き事業参入を目指す。就  
業参入を促し、その発展の連鎖を創出し、今後の地域農業の活性化に向けた連携のあり方についてです。

平成 29 年 3 月 6 日 (月)  
13:30 ～ 16:30 【受付】13:10 ～  
浜松市地域情報センターホール (浜松市中区中央 1 丁目 12-7)

第 1 部：講演 アルファイノベーション 代表取締役 山田浩太氏

農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開  
アルファイノベーション 代表取締役 山田浩太氏  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

一般社団法人ノースポート 代表 田中浩司氏  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

しずおかユニバーサル農協  
スタッフ 齋藤 誠氏  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

第 2 部：事例発表

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

第 3 部：特別報告と農業

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

株式会社 徳島県農業  
「農業・福祉・商業連携で農業はもっと強くなる！！グループ連携型農業展開」

お申込み・お問い合わせ NPO 法人 しずおかユニバーサル農業ネットワーク (事務局) [浜松市福祉事業]  
住所 〒435-0022 浜松市南区鶴原町 340-1  
TEL: 053-425-6106 (受付) FAX: 053-425-5313 Email: s.un@world.ocn.ne.jp  
農産の申込用紙にご記入うえ、(mail)、FAX または郵送によりお申し込みください。





## 今年もフラワーバレンタインキャンペーンを実施しました！



2月10日(金)・13日(月)・14日(火)の3日間、浜松市役所1階でフラワーバレンタイン販売キャンペーンを実施しました。

毎年の定番となりましたこちらのキャンペーンですが、「フラワーバレンタイン」について、改めてご紹介させていただきますね。

日本では、「女性から男性へチョコレートを贈る」ことが一般的になっている2月14日のバレンタインデーですが、世界では「性別を問わず愛や感謝を伝えあう日」とされています。世界の多くの国で、男性から女性に感謝の気持ちを込めて花が贈られています。日本でもこの「フラワーバレンタイン」が年々定着してきました。

今年で4年目を迎える今回のキャンペーンでは、日本一の生産量を誇る浜松市のガーベラ、農業分野で都市間連携をしている新潟市のチュ



ーリップ、そして今回は浜松市のバラを加えた3種類を販売いたしました。

販売とラッピングをしていただいたのは、視覚障がい者施設の「ウィズ蛸塚」さんです。一本一本丁寧にラッピングをしていただいた浜松市と新潟市の花はいずれの日も完売となり、たくさんの方に両市の花の魅力をお伝えすることができたのではないかと思います。

花のある暮らしはやっぱりいいですね。

大切な人へ感謝の気持ちを込めて花を贈る。来年もぜひ「フラワーバレンタイン」しましょう！

